

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和5年4月1日~令和6年3月31日

施設名	とくしま植物園 緑の相談所		
指定管理者	公益財団法人 徳島市公園緑地管理公社	担当課	公園緑地課
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市渋野町辻西59番地1	事業の概要	・とくしま植物園緑の相談所条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務 ・緑の相談所の維持管理に関する業務 ・とくしま植物園緑の相談所条例の一部を改正する条例(令和元年度徳島市条例第4号)第2条による改正後のとくしま植物園緑の相談所条例第6条の利用承諾に関する業務
施設の概要	とくしま植物園緑の相談所 一式		

	項目名	令和4年度	令和5年度	項目名	令和4年度	令和5年度
利用状況に関する事	講座受講者数	841人	782人	自主事業参加人数	-	-
	講座開催回数	131回	117回	事業開催数	6回	6回
	相談所利用者数	55,867人	56,071人			
収支状況に関する事	指定管理料	176,000千円	176,000千円	人件費	68,583千円	67,037千円
	利用料収入	千円	千円	管理費	106,994千円	110,368千円
	その他収入	千円	千円	その他	千円	千円
	収入実績(総額)	176,000千円	176,000千円	支出実績(総額)	175,577千円	177,405千円

※都市公園113箇所及びとくしま植物園緑の相談所を併せた収支状況です。

評価基準・評価項目	指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理体制 (1) 法令等遵守 (2) 職員配置 (3) 職員研修 (4) 利用促進の取組み (5) 設備・備品管理 (6) 安全管理体制 (7) 緊急時の体制	都市公園法、徳島市都市公園条例及びとくしま植物園緑の相談所条例等の関係法令を遵守し、管理運営を適切に実施した。緑の相談所においては、開館時間内の相談員2名に加え、企画計画担当の社員を配置している。緑化に関する知識・技術を普及し、緑化意識の向上を図るため、緑化推進の拠点として適切な管理運営を実施している。また、緑の相談所条例の趣旨に基づき、とくしま植物園サポーター制度を定めており、団体や個人がサポーター登録してボランティア活動を行っている。備品は、台帳で適切に管理している。賠償責任保険に加入し、管理運営の瑕疵に備えた。災害時・緊急時に備え、連絡網を作成し体制を整えた。	A
利用者に関する業務 (1) 利用状況 (2) 平等な利用 (3) 利用料金 (4) 接客対応 (5) 個人情報保護 (6) サービス向上の取組	カーテニングを楽しむ、自然素材の作品を楽しむ、自然に親しむなどの各講座を開催した。講座等の申込人数が募集人数より多い場合は、抽選して平等な利用を図った。園芸等の緑に関する相談では、親切で丁寧な説明を心掛けるとともに、その場で対応できない事項については、調査のうえで相談者に報告をしている。また、要望等においては、社内共有を図るとともに、適切な対応に努めた。個人情報、外部に漏洩がないよう厳重に管理した。サービス向上の取組においては、インターネットによる講座申込み方法を行うとともに、ホームページを適宜更新し、施設利用案内や見頃の花、催し物、講座募集等の情報を提供した。また、インスタグラムを活用した情報発信を行い、とくしま植物園の認知度向上や来訪喚起を図った。ウォーキングマップや花ごよみパンフレットを新しく作り直し、ホームページ掲載や緑の相談所での配布を行った。伐採した樹木をチップ、堆肥化し、グリーン堆肥として市民に配布した。伐採した樹木を薪として配布した。	A
施設管理業務 (1) 保守点検業務 (2) 清掃等維持管理業務 (3) 修繕等維持管理	緑の相談所仕様書にもとづき、トイレを週6回清掃する等の施設の清掃、設備の保守点検を行った。利用者からの連絡、要望等にも迅速に対応し、修繕する箇所について直営及び業者発注し、相談所を快適に利用できるよう施設を管理した。トイレ清掃時には季節の花を挿し花をし、利用者の心の安らぎと緑化の啓発を図った。	A
実施事業 (1) 企画運営事業 (2) 自主事業	緑化知識・技術の普及や啓発を目的とし、春・秋・冬の園芸教室や雑草いけばな教室、Flower Diaries、ネイチャーゲーム教室等の各講座の企画運営を行った。令和4年度に行った講座アンケートで要望があった、ハーブ&アロマ教室や植物の香り体験講座を新しく開講した。「花と緑の広場」、「緑化フェア」を開催し、庭園展示や園芸講習会、さくらフォトコンテスト、ガーデニングコンクール等の市民参加型イベントを実施した。また、「冬のもよおしもの」を開催し、フォトフレームイルミネーション、立体花壇、ポタニカルオブジェを展示した。「蜂須賀桜まつり」を開催し、蜂須賀桜のライトアップや蜂須賀桜を背景に写真を撮影された方に、雛あられやたい肥をプレゼントし、とくしま植物園の来訪喚起を図った。自主事業については、サポーターが相談所に飾るハンギングバスケット制作等の活動を行った。	A
経理状況 (1) 施設収支状況 (2) 指定管理者経営状況 (3) 経費の縮減		
評価基準	S:優れている(協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。) A:適正に管理されている(協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。) B:一部に改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。) C:多くに改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。)	

担当課総合評価コメント	総合評価
関係法令等を遵守し、協定書、仕様書、事業計画書等に沿った適切な管理が行われている。新たな企画運営事業やサービスの向上に取り組み、ホームページやインスタグラムなどSNSの活用による情報発信に努めるなど、来訪喚起が図られている。とくしま植物園緑の相談所は、市民への緑化啓発を行う拠点施設であることから、認知度向上をさらに進めるため、新たな講座、イベントの開催についても積極的に取り組んで頂きたい。	A
総合評価基準 S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)	